

福祉だより (2026年3月9日)

霞学区の福祉を高める会

～日常の中での「声かけ」で安心・安全のまちづくりを～

近年、地域では高齢化の進行、孤独化の深まり、そして人と人との繋がりの希薄化が懸念されています。生活環境や家族構成の変化により、これまで当たり前だった「地域の支え合い」が弱まりつつあることは、私たちにとって大きな課題です。

こうした状況の中で、私たちが改めて大切にしたいのは、地域の繋がりを取り戻すことです。その第一歩として、日常の中での「声かけ」が果たす役割は非常に大きいものです。挨拶やちょっとした会話が、孤立を防ぎ、安心感を生み、地域の安全にもつながります。

■ 困りごとの相談窓口 ■

「どこに相談したらいいのかわからない」という声は少なくありません。地域には、さまざまな相談先があります。

- 地域包括支援センター
高齢者の生活・介護・健康・権利に関する総合相談窓口
- 社会福祉協議会（社協）
生活困窮、福祉サービス、ボランティア相談など
- 民生委員・児童委員
身近な相談相手として、生活の困りごとを受け止め
必要な支援につなぐ
- 町内会
地域活動や見守りに関する相談
- ご近所（組み内・両隣）
日常のちょっとした困りごとや見守りの第一歩

困りごとは一人で抱え込まず、まずは身近なところへ声をかけてください。地域のネットワークが連携し、必要な支援につなげていきます。